

新リース会計基準対応！ リース会計基準の基礎実務

対象

経理・財務・税務ご担当者様、リース会計基準の基礎から新リース会計基準まで学びたい方

開催背景

- ① リース取引の種類や特質などの基礎的事項から会計処理まで、演習を含みながら実務的な内容を解説いたします。
- ② 新リース会計基準の適用が 2027 年度以降に開始となります。現行のリース基準を基礎から学んでいたのち、新リース基準についても演習を交えて実践的に学んでいただけます。
- ③ リース会計基準を基礎から学びつつ、新リース会計基準の適用にも備えていただけます。

本セミナーのゴール

- リースに関する会計基準の考え方を学び、現行リース基準及び新リース基準のいずれにも対応可能な基礎力を養う
- 現行リース基準の会計処理を、基礎から実務に活用できるレベルで身に着ける
- 新リース基準で変更となる論点を理解し、演習を通して実務に活用できるレベルで身に着ける
- 新リース基準の適用をタイムリーかつ円滑に行えるよう、適用準備のポイントを理解する

日時

<LIVE 配信> 2025 年 2 月 3 日(月)10:00~17:00
<見逃し配信> 2025 年 2 月 10 日(月)~2 月 17 日(月)
※見逃し配信のみのご受講でもお申込みいただけます

講師

SYS Accounting Group 合同会社 COO
公認会計士 さとう ゆう 氏
佐藤 優 氏

参加料 (負担金)

NOMA会員 33,000 円 (税込) / 名
一般 40,700 円 (税込) / 名

申込方法

- 株式会社ファシオが運営するサイト Deliveru からご受講いただけます。
お申込みは、Deliveru、本会 HP のどちらからでも可能です
- Deliveru から申込
① Deliveru [https://shop.deliveru.jp/]でセミナーを検索し
② セミナー詳細ページにある「注文する」からご購入ください
(お支払方法:クレジットカード払い、pay-easy、コンビニ振込)
③ 購入後、確認メールが届きます
- 本会 HP から申込
① 本会 HP[https://www.noma.or.jp/]でセミナーを検索し
② 「WEB 申込」からお申込みください
③ 申し込み後、確認メールが届きます。後日、請求書と参加券が郵送で届きます(お支払方法:請求書による銀行振込)

配信イメージ

講師 資料 板書 全体

KPI (Key Performance Indicator) 設定の論理的な根拠

二つのチェックポイント

① KPI (数値目標) 設定の目的に適合しているかどうか
② アクション (業務事項) と関連する目標 (KGI) は達成できるか

資料ダウンロード

いつでもどこでも何度でも受講できる
見逃し配信付きです！

- ①見逃し配信では
 - ・繰り返しご受講でき、講義の復習もできます
 - ・チャプター形式でお好きな場所から見返せます
 - ・倍速機能で効率よく学習できます
 - ・見逃し配信期間でも、講師へ質問が可能です
- ②資料はデータ提供です
- ③拡大したい画面を自分で選択できます



NOMA HP

NOMA 講座

検索

受講方法

- ・登録メールアドレスに、受講 URL/ID 等詳細のご案内が届きます(Live 配信日の概ね 3 営業日前)
- ・カメラ、マイクのご準備は不要です
- ・テキストのダウンロードは、Live 配信日の3~1 営業日前にサイト内でできるようになります
- ・セミナーの録音・録画や資料の複製、お申込みいただいていない方の閲覧等は固くお断りいたします
- ・受講証明書はサイト内でダウンロードしていただけます

キャンセル ポリシー等

- ・テキスト資料到着後(データ含む)のキャンセル料は 100%を申し受けます
- ・天災その他の不可抗力等により講師が登壇できない場合、講師の変更または延期させていただく場合がございます

主催・担当

一般社団法人 日本経営協会 本部事務局 企画研修 G
(東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-31-11 住友不動産新宿南口ビル 13 階) tms@noma.or.jp

申込問合せ

株式会社ファシオ 03-6304-0550(平日 10 時~17 時) bcs-info@vita-facio.jp

プログラム

1. はじめに

- 1-1 リース会計基準の動向
- 1-2 現行基準と新基準の概要

2. 現行リース基準

- 2-1 ファイナンス・リース取引の判定
- 2-2 ファイナンス・リース取引に係る借手の会計処理
- 2-3 ファイナンス・リース取引に係る貸手の会計処理
- 2-4 オペレーティング・リース取引に係る借手及び貸手の会計処理

3. 新リース基準

- 3-1 リースとは？
 - リースの識別
- 3-2 リース期間
 - リース期間の決定

3-3 借手のリース取引に係る会計処理

- リース構成部分とリースを構成しない部分
- 認識の免除
- 使用権資産及びリース負債の計上額
- 使用権資産及びリース負債の会計処理
- 使用権資産に関する簡便的処理
- 契約条件の変更
- リース負債の見直し

3-4 貸手のリース取引に係る会計処理

- リース構成部分とリースを構成しない部分
- 貸手リースの種類
- ファイナンス・リース
- オペレーティング・リース

4. 新リース基準導入のポイント

新基準導入までのアプローチ(案)

※最新の動向・情報を盛り込むため、内容を一部変更させていただく場合がございます。

講師紹介

SYS Accounting Group 合同会社 COO

公認会計士 さとう ゆう 佐藤 優 氏

【講師略歴】

- 2011年に新日本有限責任監査法人(現、EY 新日本有限責任監査法人)入所後、上場企業(主に電機メーカー及び物流会社等)に対する会計監査・J-SOX 監査、その他任意監査業務に従事
- 2014年から有限責任監査法人トーマツ IFRS アドバイザリーグループに所属し、IFRS 導入支援業務(IFRS 新基準対応 PJ の運営含む)、IPO 準備会社に対する IFRS・日本基準の決算支援業務に従事。また、決算期統一・決算早期化支援業務の他、RPA 導入に伴う決算業務改善支援業務、グループ会計方針統一支援業務、勘定科目定義書作成支援業務など幅広い業務に従事。その他、外部セミナーへの登壇や、専門誌への寄稿を行う
- 2019年に独立開業し、現在は SYS Accounting Group 合同会社にて、上場企業に対する連結決算業務改善支援業務、上場企業に対する IFRS 新基準導入後の業務プロセス改革支援業務、IPO 準備会社に対する IFRS や日本基準の連結決算支援業務のほか、外部セミナー講師を担当している